

太陽光発電 アセットの未来をマネジメントする 建設会社の取り組み

文＝田名部智之 株式会社田名部組 代表取締役
text by Tomoyuki Tanabu



地方ゼネコンのマネジメント

田名部組は、2014年からスタートさせた太陽光発電事業に関して、外部コンサルなどに任せるのではなく自らが企画・開発・運営を行ったことで知見や人材を有し、大型プロジェクトを推進するためのノウハウを取得することができました。

創業（創業95年）から田名部組は、建築・土木を本業とする一般的な地方ゼネコンでした。公共事業の減少などが始まったところから直営の施工班を持ち工事の注文を外注に出さずに工事を行うことや、営業の強化をはかり、土地の開発段階からお客をサポートするなどして、公共工事の受注だけでなく民間事業の受注も上

げるべく活動してきました。現在は民間事業の受注率が公共工事よりも高い、といった一般的な地方ゼネコンとは異なる特徴を持っております。

太陽光発電事業計画の リスクマネジメント

太陽光発電事業では事業計画を策定す

るにあたり固定買取期間20年間で（FIT期間）の固定費を試算し事業計画に盛り込む、またその固定費支出に対しての根拠・有効な契約・外部評価などを有するかが事業化のカギとなり、事業資金を調達するために必要なことでした。今までは取組んでこなかったことを事業が始まる前から捉えることが最も重要だったのです。

具体的には、①発電量試算や災害リスクを第三者的に評価・証明するため専門会社に依頼する ②構築工事についてフルターンキー契約に近づけコストオーバーランのリスクを軽減する ③オーバーホールに必要な機材について20年間費用固定のフルメンテナンス契約とするなど、将来に渡る「リスクの把握」と「リスクのマネジメント」を学ぶことができました。

維持管理業務でのノウハウの蓄積

通常の建設会社は造成・構築工事のみで維持管理業務は外注に出すのが一般的だと思われます。建設費用と比較すると、維持管理額は非常に少額となってしまう、また、維持管理のための人員（電気主任技術者資格の保持者）・機材の確保といった、それまで建設会社にはない人員・設備の確保が必要となり、費用・時間がかかってしまうため、建設工事会社また電気工事会社ですら維持管理の仕事をやりがりがありません。

しかし、その誰もやりたがらないため外注に出していた仕事を、会社の中で実行できるようにすると、大きな「チャンス」をつかむことができ、一般的な建設会社との違いを出せることを実感していました。そのため、電気関係の会社を定年退職された方々に入社していただき、様々なことを手伝っていただくことで、実際に太陽光発電所の維持・運営管理を行ってまいりました。

最初は人員・設備の充実を行いながらのアセット事業であったために、手探りで言うところからがスタートでした。実

際に維持・運営管理を行い、現場の不具合を技術者の方に相談しながら対応していく、といった形だったのですが、多くの不安・悩みがありました。現在は、ある程度のノウハウを習熟してきましたので、維持管理も安定してきていると思います。弊社が習熟したノウハウは、そのままアセット（資産）として保持し、今

後のマネジメントに活かさなくてはいけないものとなっております。

マネージャーとアセットマネジメントシステム(ISO 55001)の展開

太陽光発電事業計画を理解でき、計画・定期点検・維持修繕をマネジメント、実行するためのプロがいることがアドバンテージとなり、徐々に維持管理業務・電気保安管理業務や構築工事を他社様から依頼されるようになりました（30年度までの受託実績は約30件）。また、太陽光発電事業だけではなく風力発電事業にも取組めるようになりました。そして本業の建設業についても企画・開発の段階からお手伝いする仕事が増加しており、今後は、土木・建築分野についても太陽光発電事業でのアセットマネジメントの経験を活かしていきたいと考えております。そして、今後活発となることが予想されるPFI事業などはアセットマネジメント知識や同様の業務が必須となっており、共通点も多いことから様々な場面で活用できると考えております。

弊社はすでに品質と労働安全衛生のISO認証を取得しており、非常に有効に使わせていただいております。その審査にいられている審査員に「建設業はアセット管理にしっかり取り組まなければ生き残れない」といった話をしたところ、アセットマネジメントシステム認証をご紹



名称：ソーラーパーク内部法師岡太陽光発電所（青森県三戸郡南部町）
事業者名：株式会社田名部組二本木エナジー（事業代表者：田名部組）
事業規模：発電施設2,062kW、年間発電予想量2,191,130kWh
事業実施期間：2014年5月29日～2034年5月28日（20年間）

介いただきました。弊社は建物を作るだけでなく、開発段階・建築工事段階・引渡後の維持管理まで一貫してご提供するのが仕事ととらえております。こういったアセット管理は今後どんどん拡大していき、技術者を増やしていきたいと考えておりました。ただ、当時の弊社は道路の維持管理は一部実施していますが、実績は少なく、ビルの維持管理についても実績はほとんどありませんでした。しかし、「太陽光発電所もアセットですよ」という審査員の言葉から、まずは太陽光発電所運営・維持管理の認証を取り、外部からのチェックを受けながらきちんとした管理方法を確立していきたいと思っております。

アセットマネジメント認証取得から、現在までのノウハウの蓄積は非常に貴重な経験であり、弊社に大きな利益をもたらす資産であると思います。また、アセット管理事業は継続的に続いていく事業であると考えております。アセットマネジメント認証を、品質・労働安全衛生の認証と同様に活用させていながら、今後もアセットマネジメントシステムについて活用と発展をさせていきたいと考えております。

たなぶともゆき／1970年生まれ青森県八戸市出身。日本大学農獣医学部卒業後、1998年に田名部組に入社。営業職を経て、2006年に代表取締役4代目社長に就任。